

第八十二回
帝國議會
貴族院

農業保險法中改正法律案特別委員會會議事速記録第一號

(六五)

付託議案

○農業保險法中改正法律案

○食糧管理特別會計法中改正法律案

○農業保險ノ保險料國庫負擔金等ノ交付及分擔等ニ關スル法律案

委員氏名

委員長 伯爵黒木 三次君
副委員長 男爵稲田 昌植君

公爵一條 實孝君
公爵山縣 有道君
侯爵池田 宣政君
子爵岡部 長景君
子爵松平 保男君
子爵土岐 章君
子爵本多 忠晃君
入江 貫一君
三井清一郎君
男爵三須 精一君
男爵坊城 俊賢君
男爵西 西乙君
宮田 光雄君
赤池 濃君
松本 學君
千石興太郎君
吉村友之進君
塩田 團平君
大藪 守治君
米原 章三君
山上 岩二君
柴田兵一郎君
石黒 忠篤君

昭和十八年二月十二日(金曜日)午前十時
十六分開會

○委員長(伯爵黒木三次君) デハ是ヨリ委員會ヲ開會致シマス、先ヅ政府當局ヨリ提案ノ理由ノ御説明ヲ御願ヒ致シマス

○國務大臣(井野碩哉君) 本委員會ニ付託サレテ居リマスル農業保險法中改正法律案外二件ニ付キマシテ御説明申上ゲタイト思ヒマス、先ヅ農業保險法中改正法律案ノ提出ノ理由ニ付キマシテ御説明申上ゲマス、現下ノ時局ニ於キマシテ重要農作物ノ増産ヲ確保シ、農村ノ維持育成ヲ期シマスル爲ニ、農業經營ノ安定ヲ圖リ、農家經濟ヲ確立スルコトハ、益々緊要ト相成ツテ參ッタノデアリマス、是ガ爲ニハ固ヨリ諸般ノ施設ヲ必要ト致シマスルガ、就中農業上ノ災害ニ對スル共濟保險施設ノ整備ハ今日必須ノ要務ト存ゼラル、ノデアリマス、仍テ今回本制度ヲ改正致シマシテ、農業ノ經營安定及ビ再生産ノ確保ヲ期シ得ル如ク、段當保險金額ヲ引上ゲ、被害程度ノ支拂割合ヲ改訂シ、之ニ伴フ保險料ノ増加ニ對シテハ其ノ一部ヲ國庫ニ於テ負擔スルコトトシ、總テ市町村農會ヲ保險ニ加入セシムル途ヲ拓キ、以テ本制度ノ擴充強化ヲ圖リタイト存ズルノデアリマス、即チ第一ニハ、現在ノ段當保險金額水稻二十圓ヲ四十五圓ニ、麥十圓ヲ二十五圓ニ、桑葉二十圓ヲ三十圓ニ引上ゲ、且被害程度別保險金支拂割合ヲ被害程度ニ比例シテナラシムルヤウニ改訂シ、災害發生ノ頻度多キ三割乃至五割程度ノ減收

ニ對スル支拂割合ヲ増加スルコトト致シタルデアリマス、第二ニハ、段當保險金額ノ引上及ビ支拂割合ノ改訂ニ依リマシテ、保險料ハ當然増加スルコトト相成リマスルガ、米麥及繭ニ付キマシテハ強度ノ管理ヲ實施シツ、アル實態ニ鑑ミマシテ、且又農家ノ負擔關係ヲモ考慮致シマシテ、國庫及日本蠶絲統制株式會社ニ於キマシテ、右ノ純保險料ニ對シ段當保險料額ニ應ジ三分ノ一、二分ノ一、三分ノ二ノ階段ニ分チ、超過果進的ニ其ノ一部ヲ負擔スルコトニ致シタイト存ズルノデアリマス、第三ニハ、市町村農會ニ對スル共濟事業ノ強制デアリマス、一面ニ於テ右ノ如キ助成ヲ考慮致シマスルト共ニ、農業保險ノ對象タル共濟事業ヲ全國ノ市農會或ハ町村農會ニ行ハシムルコトニ依リマシテ、危險ノ分散調節ヲ良好ナラシメ、全國の共濟ノ趣旨ヲ徹底セムコトヲ期シテ居ルノデアリマス、尙農業保險ノ改正ニ伴ヒマシテ、水稻ノ冷害ニ付キマシテモ、農業保險組合ノ行フ水稻冷害共濟事業ニ對スル國庫ノ補助ヲ擴大シ、段當保險ニ準ジテ改訂致シマスルト共ニ、共濟掛金ニ對シマシテモ純保險料ト同一ノ國庫負擔ヲ爲シ、積立金ニ依ル共濟金ノ支拂不足金ニ對シマシテハ、不足金ノ二分ノ一ニ相當スル借入金ニ對シ利子ヲ補給スルコトニ致シタイト存ズルノデアリマス、本法律案ハ右ノ趣旨ニ鑑ミマシテ、先ヅ總テノ市町村農會ヲ農業保險ニ參加セシムル爲ニ、必要

アル場合ニ於キマシテハ行政官廳ハ市町村農會ニ對シ、共濟事業ノ開始ヲ命ズルコトヲ得ル途ヲ拓クコトト致シタルデアリマス、次ニ農業保險組合ノ行フ水稻ノ冷害共濟事業ニ對シ、保險料ト同ジク共濟掛金ノ一部ヲ國庫ニ於テ負擔致シマスルト共ニ日本蠶絲統制株式會社ヲシテ桑葉ノ保險ニ對スル保險料ノ一部ヲ負擔セシムル爲ニ、國庫ニ納付金ヲ爲サシムルコトト致シタルデアリマス、尙右ノ納付金ニ付キマシテハ、課税ノ關係ニ於テハ之ヲ損金ニ算入スルコトヲ明カニスル規定ヲ設ケタ次第デアリマス、次ニ食糧管理特別會計法中改正法律案ニ付キマシテ御説明ヲ致シマス、政府ハ今回農業保險ノ純保險料ノ一部及ビ農業保險組合ノ行フ水稻ノ冷害共濟事業ノ共濟掛金ノ一部ヲ、國庫ニ於テ負擔スルコトト致シタルデアリマスガ、此ノ國庫負擔金ニシテ米麥ニ關スルモノノ内、食糧管理特別會計ニ於テ分擔スル金額ニ付キマシテハ、之ヲ一般會計及ビ農業再保險特別會計ニ繰入レ得ル途ヲ拓キマスルト共ニ、農業再保險特別會計ニ於キマシテハ、右ノ繰入金ヲ受入ル、途ヲ拓クノ必要ガアリマス等ノ爲本法律案ヲ提出致スコトニ致シタ次第デアリマス、次ニ農業保險ノ保險料國庫負擔金等ノ交付及分擔等ニ關スル法律案提出ノ理由ニ付キマシテ御説明申上ゲマス、政府ハ從來農業保險法ニ基キマシテ、農業保險組合ノ組合員ノ支拂フベキ付加保險料ニ付テハ其ノ全部ヲ負擔シ、又第七十九回帝國議會ノ協賛ヲ經マシタ

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ニ基キマシテ、水稻ノ冷害共濟事業ヲ行フ農業保險組合ノ共濟金ノ支拂不足金ニ付キマシテ其ノ一部ヲ補足スルト共ニ、右ノ不足金支拂ノ爲メ借入金ノ利子ノ一部ヲ補給スルコトヲ致シテ參シタノデアリマス、然ル處今同農業保險法ヲ改正致シマシテ、農業保險ニ付テハ附加保險料ノ外、組合員ノ支拂フベキ純保險料ノ一部ヲ外國庫ニ於テ之ヲ負擔シ、又水稻ノ冷害共濟事業ニ付テハ、從來共濟金ノ支拂不足金ノ一部補足ニ代ヘ、當該農業保險組合ノ組合員ガ賺出スベキ共濟掛金ノ一部ヲ、國庫ニ於テ負擔スルコトヲ致シマスト共ニ、桑葉ノ保險ノ分ニ付テハ、日本蠶絲統制株式會社ヲシテ、組合員ノ支拂フベキ純保險料ノ一部ヲ負擔セシムル爲メ負擔金ヲ納付セシムルコトヲ致シタノデアリマス、而シテ右ノ場合ニ於キマシテ先ヅ保險料國庫負擔金及ビ水稻ノ冷害共濟掛金ノ國庫負擔金ノ交付ニ付キマシテハ、民間ニ於ケル農業保險事務處理上ノ便宜ヲ考慮シ、其ノ一部ハ組合員ノ爲メ組合ニ之ヲ交付スルコトヲ致シマスト共ニ、其ノ一部ハ組合ニ交付スルコトニ代ヘテ、農業保險組合聯合會又ハ政府ノ受クベキ再保險料ニ充ツル爲メ、農業保險組合聯合會ニ交付シ、又ハ農業再保險特別會計ニ繰入レ得ルコトヲ致ス必要ガアルノデアリマス、次ニ農業保險ノ純保險料國庫負擔金ノ内、米麥ニ關スルモノ及ビ水稻ノ冷害共濟事業ノ共濟掛金國庫負擔金ハ、之ヲ食糧管理特別會計ニ於テモ分擔スルコトヲ致シマシテ、其ノ分擔額ノ内、農業保險組合及農業保險組合聯合會ニ交付スル分ニ付キマシテハ、事務簡捷ノ趣旨ニ依リ之ヲ一般會計ニ繰入レ、一般會計ノ分擔額ト併セ、一

括シテ交付スルコトスルノヲ適當ト認メタノデアリマス、又農業保險ノ純保險料ニ關スル日本蠶絲統制株式會社ノ負擔ニ付キマシテモ、事務簡捷ノ趣旨ニ依リ、之ヲ一旦、一般會計ニ納付セシメマシタル上、政府ノ負擔スル保險料國庫負擔金ト併セ、一括シテ農業保險組合聯合會ニ交付シ、或ハ農業再保險特別會計ニ繰入ル、コトスルノヲ適當ト認メタノデアリマス、以上ノ理由ニ依リマシテ本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、以上三件ノ法律案ニ付キマシテ、何卒御審議ノ上速カニ御可決アラムコトヲ御願ヒ申上ゲマス

○委員長(伯爵黑木三次君) 皆様ニ申上ゲマスガ、大臣ハ午前中ナラバコチラニ居テモ宜イト云フヤウナ御意同デアリマスカラ、大臣ニ對スル質問ハ此ノ際御願ヒ致シタイト存ジマス

○柴田兵一郎君 只今農林大臣ノ御説明ノ通り、農業保險事業ヲ強化スルコトハ農業經營ヲ安定ナラシメ、再生產確保ヲ期スル上ニ必須ノ要務デアリマスガ、併シナガラ決戦下食糧増產ヲ焦眉ノ急務トスル際、私ハ主要食糧ノ價格ヲ引上ゲルコト、否、他ノ農產物價即チ蔬菜果樹等ノ價格ニ比シテ適正ナラシムルコトハ、現下ノ農林國策トシテ先決問題デアリ、且増產對策トシテ最も效果的デアルト思フノデアリマス、大臣モ昨年以来米、木炭ノ増產獎勵ノ爲ニ遠隔僻陋ノ山村ヲ遍歴踏査サレマシテ、自ラ陣頭指揮ヲヤラシメシタコトニ付テハ、私共ノ大ニ敬意ヲ表シテ居ル所デアリマス、而シテ實地御視察ノ結果、農林產物ノ生産狀況ニ付テハ十分御承知ノコトト思ヒマスカラ、今諄々シク申上グル要モナイノデア

リマスケレドモ、現下ノ米、麥ノ値段ハ果シテ引合フカドウカ、水田耕作者ハ漸次減少ノ傾向ニナйкаドウカ、若シアルトスレバ此ノ儘ニ放置ハ出來ナイ、速カニ對策ヲ講ジテ戴キタイ、勿論戰時下低物價政策ヲ堅持シナケレバナラスコトハ分ッテ居リマス、又米、石炭、鐵ノヤウナ基本的物資ノ價格引上ハ、總テノ物價ニ大キナ影響ヲ與ヘルコトモ承知シテ居リマスガ、唯私ハ低物價モ程度問題デアリマシテ、米一升ト煙草朝日一個ト同値デアルト云フヤウナ、他物價ニ較ベテ餘リニ安過ぎル、不均衡デアル、否勞銀ノ昂騰セル今日、生産費スラ償ハヌト云フ場合ニハ、之ヲ引合フ迄引上ゲルコト、是正スルコトハ當然ヤラナケレバナラスト思フノデアリマス、之ヲヤラズニ災害時ノ補償ノミヲ考ヘテヤツデモ、果シテ増產ガ期シ得ラレマセウカ、低物價政策ハ大方針デアリ、原則デアリマスガ、併シナガラ幾萬種ノ物價中ニハ不均衡ノモノモ相當見受ケラレルノデアリマス、是等ヲ速カニ適正化スルコトハ、價格政策上是非手ヲ著ケナケレバナラス問題デアルト思フノデアリマス、然ラザレバ増產モ配給ノ圓滑モ期シ得ラレナイト思フノデアリマス、デ、私ハ先ヅ保險ノ改正案ニ「タッチ」スル前ニ此ノ點、米價問題ニ付テ御伺ヒシテ見タイト存ジマス

○國務大臣(井野碩哉君) 米ノ價格ノ問題ハ色々御議論モアルコトデアリマス、私共ノ方ト致シマシテモ十分色々考ヘテ居リマス、併シ米價ノ問題ハ二ツノ觀點カラ申上ゲタイノデアリマシテ、一ツハ政府ガ賣拂ヒマス價格、サウシテ消費者ニ是ガ渡リマス價格、此ノ部面ニ於テ米價ヲ値上スベシト云フ論ガアリマス、即チ今御話ノヤウニ煙草等ト較ベテ見テ非常ニ米ガ安い、消費者ハモット負擔能力ガアルカラ米ノ價格ヲ上ゲテモ宜イデヤナイカト云フ論ガアリマス、併シ今日米價ト云フモノガ總テノ物價ノ基準トハ申シマセヌガ、其ノ影響シマス所ガ非常ニ大キイノデアリマシテ、米價ヲ今上ゲルト云フコトニナリマスレバ、或ハ勞賃ニモ響キ、或ハ其ノ他ノ必需物資ニモ總テ響イデ參ルノデアリマシテ、今日政府ガ低物價政策ヲ支那事變以來堅持シマシテ、主要ナルモノハ上ゲナイト云フ建前ヲ探ッテ居リマス此ノ低物價政策ハ、結局國民ノ物價ニ對スル安定感ヲ保持スルコトニ依リマシテ其ノ目的ヲ達スルノデアリマシテ、之ニ一度手ヲ著ケ出スト云フコトニナリマス、又政府ハ又低物價政策ヲ變更シタシヤナイカ、斯ウ云フコトカラ起ッテ參リマス社會的影響ノ方ガ非常ニ大キイノデアリマシテ、從ッテ政府トシマシテハ鐵、石炭、銅、米ト云フヤウナ物價ノ中樞ヲ成スモノニ付キマシテハ、値上ヲ致サスト云フ方針ヲ堅持致シテ居ルノデアリマス、從ッテ今日米ノ價格ニ付キマシテモ消費者ノ方カラ見マスレバ、或ハ安イト云フコトニナルカモ知レマセヌガ、之ヲ動カサスト云フ方針デ政府ハ今後モ當分續ケテ參リタイト考ヘテ居ルノデアリマス、然ラバ消費者ノ方ニ對スル米ノ値段ヲ上ゲナイト云フコトニナツテ、生産者ニ對スル關係ハドウナルカト申シマス、生産者ノ方ハ消費者ノ價格ヲ引上ゲナクトモ引合ハナイ時ニナツテ來マスレバ、勢ヒ生産ノ減退ヲ生ジテ來ルコトニナリマスルカラ、此ノ方面ハ其ノ儘何時迄モ堅持スルト云フ譯ニハ參ラナイ事

態ニアルノデアリマス、從ッテ現在デハ、米ハ御承知ノ如ク國家管理ニナッテ居リマシテ、生産者ガ作リマス米ノ中デ自家用保有米ヲ除キマシタ以外ハ、全部政府ニ賣却スルコトニナッテ居リマス、從ッテ政府ガ買入レマス價格ニ於テ之ヲ考慮スルカ、又ハ何等カ他ノ方法ヲ以テ生産者ニ米ノ買入價格ヲ引上ゲタト同ジ效果ヲ與ヘル方法ヲ講ズルコトガ、其ノ方面ニ對スル一ツノ施策ニナル譯デアリマス、一昨年來米ノ所謂生産者ノ賣渡價格ト云フモノガ、他ノ物價ニ較ベテ安ウゴザイマスシ、又生産費モ色々調ベテ見マスルト云フト引合ハナイ、其ノ當時詰リ一石四十三圓ノ買入價格デアリマシタガ、ソレデハドウシテモ引合ハナイト云フ點ガハッキリ致シマシタノデ、先般米ノ二重價格制度ヲ布イタノデアリマス、サウシテ四十三圓ヲ五十圓ノ米價ニ相當スルヤウニ致シマスレバ、其ノ當時ノ生産費デモマア大體引合ヒマスルシ、他ノ物價ニ較ベマシテモ、其ノ程度ナラバ適當デアラウト云フ所カラ、五十圓ニ引上ゲタト同ジ效果ヲ齎スベキ二重價格制度ヲ布キマシテ、米ノ生産獎勵金トシマシテ一石五圓、政府ノ買入價格ヲ一圓引上ゲ、銘柄格差ノ整理ニ依リマシテ一圓方生産者ニ有利ニ致シマシテ、結局七圓米價ヲ引上ゲタト同ジ利益ヲ農民ニ與フルヤウニ致シタノガ、昨年實行致シマシタ米價ノ二重價格制度デアッタノデアリマス、之ニ依リマシテ農村方面モ、非常ニ政府ガ斯ウ云ツタ點ニ考慮ヲ加ヘテ吳レタコトヲ喜ンデ居ッタノデアリマスガ、其ノ結果ノミトハ申セマセヌガ、本年ノ米作モ非常ニ思ツタヨリ豐作デアリマシタシ、供出ニ致シマシテモ一生産農村ハヤッテ吳レテ

居ルノデアリマス、然ラバ現在ノ價格ヲドウ見ルカ、斯ウ云フコトニナルノデアリマスガ、此ノ政府ノ生産者カラ買入レマス價格ト云フモノハ、食糧管理法ニ依リマシテ昨年ノ議會デ是ハ御協賛ヲ經テ法律デアリマスガ、其ノ買入價格ノ基準トナルモノハ生産費ヲ大體基準ニ致シマシテ、ソレニ物價指數或ハ其ノ他ノ經濟事情ヲ斟酌致シマシテ、政府自ラガ決メルヤウニナツテ居リマス、デアリマスカラ今日政府トシマシテハ、米ノ生産費ガ一體現在ノ農民ノ手取金五十圓デ引合フカドウカト云フ問題ニナツテ來ルノデアリマスガ、本年ノ米ノ生産費ハマダ全部ッテ居リマセヌノデ、今折角調査ヲ致シテ居リマスガ、唯私ガ屢々衆議院デモ申シテ居リマスヤウニ、此ノ際米價ノ二重價格制度ニ於テモ勸奨金ヲ増スナリ、或ハ買入價格ヲ高メナイト云フ理由ト致シマシテハ、此ノ五十圓ノ米ノ相場ヲ決メマシタ時ノ米作ハ五千五百萬石ト云フ凶作ノ年デアリマシタ、勿論一年ノ作柄ヲ以テ生産費ハ決メテ居リマセヌ、過去數年間ノ平均ヲ入レマシタ過去ノ平均デ、尙五十圓デ生産費ガ價フコトニナツテ居ルノデアリマシタルカラ、本年ガ六千七百萬石ノ豫想ヲ今見テ居リマスガ、之ヲ過去數年ノ平均ニ加ヘルト云フコトニナリマスルト云フト、昨年ヨリ生産費ガ高クナルト云フ見透シガ付カナイノデアリマス、從ッテ本年トシマシテハ獎勵金ヲ殖ヤス、或ハ買入價格ヲ高メルト云フ理窟ガ直チニ立チニクイノデアリマシタノデ、食糧管理法ノ建前ヲ申シマスルト云フト、今茲ニ工作ヲ施スト云フコトノ出來ナイヤウニナツテ居ルノデアリマス、從ッテ本

年ノ米價ヲ、マア能ク米ノ生産費ヲ十分ニ調査シ、サウシテ其ノ結果ヲ待チ、尙又米作事情等ヲ勘案致シマシテ、今後トシテハ色々研究ヲ致ス餘地モゴザイマスガ、只今トシテハ之ヲ政府トシテハ、改定スルト云フ意思ハ持ッテ居ラナイノデアリマス、以上申上ゲマシタヤウナ點カラ、政治的ニ之ヲドウスルト云フ問題ヨリハ、寧ろ食糧管理法ノ運用カラハ考ヘテ行カケレバナリマセヌノデ、サウ云ツタ見地カラ只今申上ゲタヤウナ態度ヲ執ツテ參リタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○柴田兵一 郎君 只今農林大臣ノ御答辯ニ依リマス、低物價政策ノ見地カラ引上ハ出來ナイ、又補助金ヲ増スコトモ國家財政上容易デヤナイト承リマシタガ、今日數百億龐大ナル豫算ヲ實行シテモ、管理通貨ニ依ッテ「インフレ」ヲ防止シテ居リマス、オヤリニナラナイカラ出來ナイノデアッテ、絕對ヤラナケレバナラスト思ヘバ、他物價ニサシタル影響ナシニ必ズ出來ルヂヤナイカト私ハ信ジマス、又補助金政策、即チ二重價格制ノ必要モ勿論アリマスルガ、併シ是モ或程度ガアルト思フノデアリマシテ、米ノ場合ハ是以上補助金ヲ増スト云フコトヨリモ、價格ノ引上ゲ二割位ヲ至當ト私ハ認メルノデアリマス、以上希望意見ヲ申述ベマシテ此ノ問題ハ打切りマス、次ニ御尋ネ致シタイコトハ、本年度ニ於ケル主要食糧ノ事情竝ニ今後ノ食糧政策ニ關シテ、若シ御差支ガアリマスレバ速記ヲ止メレ、出來ルダケ詳細ニ承リタイト存ジマス

○委員長(伯爵黑木三次君) 速記ヲ止メテ……

午前十時三十九分速記中止

午前十時五十五分速記開始

○委員長(伯爵黑木三次君) 速記ヲ始メテ……

○柴田兵一 郎君 只今食糧事情ニ付キマシテ詳細御説明ヲ煩シマシテ有難ウゴザイマシタ、結局本年度ノ食糧事情ハ昨年度ニ較ベマシテ、收穫ハ千二百萬石增收ニナリマシタケレドモ、需給關係カラ申シマシテ樂觀ガ出來ナイト云フ御説明デアリマスルガ、ソレニツケマシテモ今後増産ニ付キマシテ一段ノ御配慮、御努力アラムコトヲ切望シテ已マナイ次第デアリマス、是デ私ノ質問ヲ終リマス

○三井清一 郎君 只今ノ質疑應答ニ關聯シタコトデゴザイマスノデ、此ノ際一言御尋ネシ、又意見ヲ述ベサセテ戴キマス、先刻來米ノ價格ヲ上ボスト云フコトニ付テノ御意見ガアリ、農林大臣ノ詳細ナル御説明ガアリマシタ、我々ハ翼賛會等デ、地方ナドヲ廻リマシタ狀況カラ判斷シテ、現在米ノ二重價格制度ヲ執リ、獎勵補助ヲナサレテ居ル結果、農村ハ左程米ガ安クテ算盤ガ採レヌト云フ狀況デナイト感ジテ居ルノデアリマス、寧ろ今日ノ決戰事態ニ於テ、農林省ノ執ラレテ居ル御方針ニ付テハ、私ハ贊意ヲ表シテ居ル一人デアリマス、併シ此ノ根本ノ議論トシテ、ドウモドウカスルト、自由經濟時代ノ議論ニ陥リ易イト云フ感ジヲ致シマス、例ヘバ米ノ値段ヲ上ゲルト他ノ物價ガ上ツテ、抑ヘルコトガ出來ヌ、所謂低物價政策ニ反スル、私ハモウ無論、統制經濟デモ自由經濟デモ、物ト金ノ「バランス」ヲ執ルト云フコトハ、是ハ經濟ノ根本デアラウト思フ、之ヲ考ヘルト云フコトハ、無論結構オコトデアリマスケレドモ、今日政府ガ總



テノ價格ヲ統制シテ、公定デ抑ヘテ行カレ
ル際デアリマスカラ、茲ニ米ノ價格ガ少シ
騰ツカラ他ノ價格ガ直グ騰貴スルト云フ
ヤウナコトハ、統制經濟ノ根本精神カラ行
キマス、大シタソレハ問題デハナイノデヤ
ナイカ、農林大臣ハソコハ御考ニナッテ居
ルデハナイカ、大藏省デハ隨分金ト物ノ「バ
ランス」ニ付テノ御意見モアツタヤウデア
リマスカレドモ、此處ハ少シ考ヘル點デヤ
ナイカ、今日何萬種ト云フ物價ヲ丸公デ
抑イテラシヤル、ソレデモ闇ガ行ハレ
色々シテ、事實ハドウモ「バランス」經濟ニ
陷リ易イ、之ヲ抑ヘルニハドウシテモ國民
ニ憲法精神ヲ十分ニ鼓吹シテ、時局ノ認識
ヲ深カラシムル外ハナイノデアル、今若干ノ
價格ニ付テ彼此スルヨリモ、私ハ其ノ方ガ
主ナルモノデナイカト考ヘルノデアリマス
ガ、併シ私ノ考ガ誤ッテ居ルカモ知レマセ
スガ、農林大臣ノ米穀統制ニ付テモ、矢張
リ米ノ價格ノ「バランス」ヲ、或ハ生産費其
ノ他ノ「バランス」ニ付テモ矢張り自由經濟
時代ト同ジヤウニ考ヘテ行カナケレバ、根
本ガイケナイト云フ御方針デアリマスカ、ソ
レハ統制ヲ強化シテ、總理大臣ガ申サレル強
權ノ發動ヲシナイデ國民ノ自覺ニ俟ツ、國民
ノ誠心誠意ニ俟ツト云フ意味デ、統制ヲ強
化シテ今日ノ經濟事態ヲ切抜ケヨウ、斯ウ
云フ御考デアリマスカ、御差支ナケレバ……
○國務大臣(井野碩哉君) 御説ノ如ク米ノ
値段段ヲ多少動かシタ所デ、ソレガ大シタ影
響ヲ與ヘナイノデヤナイカト云フ見方モ、是
ハゴザイマス、自由經濟時代ノヤウナ考デ、
物ト價格ト「バランス」ヲ餘リ深ク、重ク考
ヘ過ギルト云フコトガ、却テ又統制經濟ノ所
謂統制強化ノ上ニ於テノ闇ヲ助長スルコトモ、

私共モ其ノ弊害ハ認メテ居リマスカレドモ、
併シ何ト申シマシテモ、今日ノ此ノ統制經
濟ガ段々ト強化サレテ參リマシテ、有ラユ
ル物ニ公定價格ガ出來テ參リマシタ今日、
茲デ矢張り或程度基準トナルモノヲ動かカ
スト云フコトニナリマス、今迄折角決メマ
シタ公定價格ト云フモノヲ總テ又イデラナ
ケレバナラスト云フコトニナルト思ヒマス、
公定價格ノ無イ時代ナラハ多少ノ騰リ方
ヲシマシテモ、私ハ直チニ「インフレーション」
ヲ起ストハ考ヘテ居リマセヌケレド
モ、少クトモ今ノ米穀ナリ、或ハ鐵ナリ、
石炭ト云フモノヲ、其ノ當時ノ價格ヲ基準
トシテ公定シ、サウシテソレニ基イテ有ラユ
ル物價ヲ九・一八デ「ストップ」シテ、ソレヲ修
正致シテ參ッテ來テ居ル今日デアリマスカ
ラ、一箇所大キナモノヲ破ルト云フト、外
ノモノ全部ニ響クト云フコトハ、是ハアリ
得ルノデアル、サウナリマス、今何萬ト
云フ物價ヲ決メテ居リマス、又之ヲ決
メ直スト云フコトニナリマス、其所ニ所
謂大キナ社會不安ヲ生ジテ來ル虞ガアルト
思フノデアリマス、デアリマスカラ唯米ノ
價ヲ僅カ上ゲルト云フ問題デハナクシテ、
國民ガ低物價政策ニ、政府ノ堅持シテ居ル
政策ニ對スル信頼度、政府ハモウ基準ノモ
ノハ動かサナイノダト云フ信頼度ノ下ニ、
今日外ノ物價ト云フモノノ安定ヲ見テ居
ルノデアリマシテ、御話ノヤウニ總テノ物價
ヲ見マシレバ、中ニハ勿論闇ノ價格モアリ
マスカレドモ、全體的ニ見マス、矢張り
低物價政策ト云フモノヘ支那事變以來堅持
サレテ來テ、日本ノ物價ガ大キナ詰リ變動
ヲ見ナイノモ此ノ效果デアルト考ヘテ居
ルノデアリマス、デアリマスカラ矢張り此ノ

政策ヲ堅持シテ、一層統制ヲ強化シテ行ク、
サウシテ出來ルダケ統制強化所謂配給系統
ノ統制ノ強化ニ依ッテ、物ノ闇ヲ出來ルダケ
少クシテ行ク、サウシテ價格ノ方ト相俟ッテ、
公正ナル分配ヲシテ行クコトガ一番矢張り
適當デハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居
マス
○三井清一郎君 只今ノ御答辯デ満足致シ
マス、次ニチヨット十八米穀年度ノ需要供給
ニ付テノ御話ガアリマシタガ、我々ハ農村
ノ事情ヲ調べテ見マス、米ノ不足ヲ麥
デ補ハス、二毛作デ麥ノ栽培ヲ獎勵スルト
云フヤウナコトモ一ツノ方法デアリマスガ、
是ガ從來カラサウ云フ地方ニ依ッテ、習慣的
ニヤッテ居ル所ハ米ノ生産ヲ減ジマセヌガ
北陸ノ如キ水稻ノミデ、殊ニ水田ノミノ所
デハ此ノ二毛作ヲヤルト云フト、餘程肥料
ヲ能ク施サナカッタラバ二割五分ノ減收
デアルト云フコトハ、統計的ニ事實デアルト
主張シテ居ル地方ガアルノデアリマス、是
ハ矢張り地方ノ事情ニ即シテ御獎勵下サ
タナラバ宜イノデヤナイカ、又甘藷モ出來
ル地方ト出來ナイ地方トアル、或ハ玉蜀黍
モ出來ル地方ト出來ナイ地方トアリマス、
是等ノ地方事情ヲ十分ニ御調査ヲ願ッテ、各
適所ニ適當ナ代用食ノ收穫ヲ御期待ニナル
方ガ宜イノデヤナイカト思フノデアリマス
ガ、ドウモ農林省デハサウ細カク分ケル譯
ニ行カヌデ、一般的ニナリ易イヤウニ思ヒ
マスガ、其ノ點ハ從來ドウ云フ御方針デヤ
テ居ラレマスカ
○國務大臣(井野碩哉君) 農林省ト致シマ
シテモ麥ノ裏作獎勵、又甘藷、馬鈴薯ノ増
産ニハ一生懸命ニ努力致シテ居リマスガ、
地方的ノ事情ニハ相當ニ矢張り考慮ニ加ヘ

テ、各府縣ニ割當ヲ致シテ居ルノデアリマ
ス、各府縣内ノ作付關係ハ、是ハ府縣ガ一
番能ク知ッテ居ル譯デアリマスカラ、府縣自
體ガ適地ニ之ヲ獎勵シテ參リマスルケレド
モ、農林省トシマシテモ亦地方的ノ出來ル
ダケノ特徵ヲ十分ニ研究シテ居リマスルシ、
殊ニ麥ノ裏作ノ如キハ非常ニ寒イ所デハ出
來ナイノデアリマスカラ、東北デモ餘リノ
寒冷地帯ニハ無論ハ獎勵致シテ居リマセ
ヌ、今日獎勵シテ居リマスノハ、大體現在
ノ品種デ以テ、サウ米ノ收穫ヲ減ラサナイ
デ、出來得ル程度ノ麥ノ裏作ヲ獎勵致シテ居
ルノデアリマス、部分的ニハ今御話ノヤウ
ナ所モアルカモ知レマセヌケレドモ、全體
的ニ言ヒマス、米ガ二割、三割減タト云
フコトハ、是ハ統計的ニハ出テ來テ居リマ
セヌ、麥モ出來、又米モ相當出來テ居ル、
全體的ニハ出來テ居リマス、決シテ御話ノ
ヤウナ、サウ云ツタヤウナ所ニ無理ナ獎勵
ヲ致ス考ハ持ッテ居リマセヌシ、サウ云フ點
ハ十分ニ考慮致シテ居ルノデアリマス
○三井清一郎君 モウ一ツ、玄米食ノコトニ
付テ、私ハ玄米食ニハ反對ノ聲ヲ出サレテ
迷惑シテ居ルノデアリマスガ、反對デモ何
デモナイ、農村關係ニ付テ始終注意シテ居
ト色々ノ批評ヲ受ケマスガ、私ハ今日政府ガ
御獎勵ニナツテ居ル玄米食ハ、勵行シタナ
バ一割五分位ノ米ノ不足ヲ補フコトガ出來
ルト思フノデアリマス、唯一方此處デ農林省ト
シテハ、飼料ノ配給ヲ如何ニスルカト云フ問
題ガ殘サレルノデアリマス、農林大臣ノ之ヲ強
制スルト云フ御意見ガ確定セナイノモ、多ク
ハソコニアルノデヤナイカト察セラレノデ
アリマス、併シ此ノ玄米食ニ依ッテ獎勵後非
常ニ急速ニ玄米ノ配給ヲ希望スル者ガ出來

テ、東京ノ如キハ配給が間ニ合ハヌト云フ程度ニ行ッテ居ルト云フコトデアリマス、又我々ノ研究スル所ニ依ルト、玄米食トシテモ、ホソノ皮ガ糠ガ行ク程度ニ、或ハ一分搗デモ宜シウゴザイマスガ、斯ウ云フモノデアッタナラバ、炊イテモ從來ノ白米ト大差ナク炊ケル、サウシテ却テ衛生其ノ他ニ効果ガアルト云フカラ、二分搗トカ、或ハ一分搗トカ云フヤウナ程度ニ、政府ガモウ玄米ヲ配給ナサレノダカラ、一ツ強行セラレタ方ガ寧ロ配給ノ手數ヲ減ジテ宜クハナイカト思フノデアリマス、唯飼料問題其ノ他、糠ハ御承知ノ農村其ノ他デハ色々ノ方ニ使ヒマス、是等ノ物ヲ何ヲ以テ代用スルカト云フコトハ刻下ノ問題デアラウト思ヒマスガ、之ニ對スル農林省ノ御方針ヲ承テ見タイト思ヒマス

○國務大臣(井野碩哉君) 玄米食ノ問題ハ

先程私カラモ申上デマシタ通り、是ハ今此處デ急ニ強制ラシテ、一般ニ普及ヲサセルト云フコトハ、色々各方面ニ影響スル所ガ大キイノデアリマス、而モ農林省ガ玄米食獎勵ヲ採リマシタ所以ノモノハ、先程申上デマシタ通り、本年ノ食糧事情ガ有ラユル方面カラ工夫ヲ凝ラシテ行ッテ、サウシテ船腹ノ節約ヲ致シタイト云フコトカラ、玄米食モ或程度ニハ數量節約ニナリマスルカラ、從ッテ之ヲ獎勵シテ行カウト云フコトニナッタノデアリマス、デアリマスカラ衛生的見地カラ是ガ宜イカラ獎勵スルト云フノデハナインノデアリマシテ、食糧政策カラ之ヲ採用致シタ譯デアリマス、從ッテ玄米食獎勵ニ伴フ逆ノ影響ト致シマシテノ所謂飼料問題ハ、量ハ農林省トシテモ一番大キナ問題デアリマスルカラ、是ガ玄米食ガ段々進

ヌバ進ムダケ糠ガ減リマスルカラ、之ニ代ル飼料ト云フモノヲ考ヘテ行カナケレバナラス、ソコデ草木等ノ自給飼料ハ勿論デアリマスガ、又芋ノ蔓ノ刻ミマシテサウシテ粗飼料ヲ濃厚飼料ニ直スト云フヤウナ方法モ考ヘ又牛馬等ノ所謂大家畜ニ對スル飼料ハ、輸移入飼料等ヲ出來ルダケ優先的ニ多ク配給スルト云フヤウナ、色々ノ手段ヲ漸次玄米食米ノ普及ト併セマシテ考ヘテ行カナケレバナラスト思ツテ居リマス、從ツテ玄米食モ全國ニサウ急激ナ普及ハナカノ私ハ困難デヤナイカト思フノデアリマシテ、ソレニ併セテ飼料對策ヲ順次考ヘテ參レバ、ソコニ兩者ノ調和ガ取レルノデヤナイカ、又玄米食モ炊キ方ガナカノムツカシイノデアリマスガ、之ヲ教ヘ込デ行カナケレバ、直グニ強制シタナラバソコニ却テ榮譽上又色々問題ガ起リマスカラ、從ッテ其ノ意味デモ獎勵ノ形ヲ採ッテ居リマス、ソレト併セテ先程申上デマシタ通り、政府ノ配給シマス米ハ今政府ガ殆ド管理シテ居リマスガ、是ハ搗精歩合ヲ一面強化シテ參リマシテ、三井サンノ御話ノヤウニ一分搗、二分搗ヲ獎勵シテ行キマスレバ、玄米食ト殆ド皮一重ニナッテシマフノデアリマス、デスカラ其ノ三ツノ方面カラ考慮シツ、數量ノ増加ト云フコトヲ考ヘテ、サウシテソレニ併セテ飼料對策ヲ考ヘル、斯ウ云フ建前ヲ採ッテ居リマス

○子爵松平保男君 極ク簡單ナ御尋デスガ、

只今三井サンノ御話ニ關聯シテ居リマスカラ……此ノ米ノ今ノ値段デゴザイマスネ、ソレガ他ノ物價ト比較シテドウカト云フ御話デスガ、其ノ中デモウ少シ具體的ニ、私ノ御尋ネシタイト思フノハ勞銀ノ問題デア

リマス、ソレデ我々ガ地方ニ參リマシタリ、ソレカラ又農家ノ方ニ關係アルヤウナ者カラ聞イテ居ルノニハ、詰リ米ヲ作ツタリ、或ハ畑ヲ作ツテモ、其ノ賃金ト云フモノハ勞銀ニ對シテ大變安イト、一日軍需工場ヘデモ行ッテ働ケバ、米ノ何升位ニナルノダ、之ニ比較シタ問題ヲ能ク耳ニスルノデアリマス、是ハ農民ノ人達カラ見レバ、何カ外ノ物價ガコンナ値段デアアル、ア、云フ値段デアルト云ッテ、ソレニ比較スルヨリモ、直接一番關係ヲ深ク持ツモノダラウト思フノデアリマス、ソレデ是ハ今ノ先程モ御話ガ出マシタガ、農業、食糧問題ト云フモノハ非常ニ重大ナル問題デアルカラ、ソナコトハ考ヘナイデ、矢張り自分達ハ農業ニ從事シテ御國ノ爲ニ盡スト云フヤウナ考ヘ方デ行カナケレバナラナイノデアリマスケレドモ、ソコガドウモナカノサウ云フ譯ニハ行カヌヤウナ事情モアルト思フノデアリマス、ソレデ今ノ其ノ勞銀ノ問題ト云フヤウナコトト、米價ノ問題ト云フコトニ對スル御考ハドシナヤウナ譯デアリマスカ、其ノ點ヲ

○國務大臣(井野碩哉君) 米ノ所謂生産費

ヲ考ヘマス時ニ、農家ノ努力ヲドウ見ルカト云フコトハ一番大キナ問題デアリマス、今ノ所デハ日傭勞賃トシテ見テ居リマス、其ノ農村ニ於ケル日傭勞賃モ、工場、鑛山ニ於ケル勞賃モ所謂公定ハサレテ居リマス、其ノ比較モ或程度均衡ヲ保ツテ出來テ居ルノデゴザイマスケレドモ、併シ工場、鑛山等ニ於テハ請負作業等ガアリマシテ、一定ノ仕事ニ對スル支拂ガ多イト云フ所カラ、一日働ク收入カラ見マス工場、鑛山ノ方ガ有利ダト、米ヲ作ルヨリ有利ダト云フ點

ハ確カニ是ハ地方的ニハゴザイマス、其ノ爲ニ今農村カラモサウ云フ收入増加ニ引カサレテ勤ク勞力ト云フモノモ相當ニアルノデゴザイマスケレドモ、併シソレダカラト云ッテ、ソレデハ米ノ問題モソレニ引合フヤウニ全部合スト云フコトニナッテ參リマス、是ハ又大變ナ……補助金デモアリマスレバ、國家ノ補助金ガウント大キクナリマスシ、サウ云ツタ詰リ外ノ物價ト較ベテ見テ米ノ勞賃ガドウダト、ソレヲ直サナケレバ増産ガ出來ナイダト云フ、所謂價格政策カラノミ此ノ食糧増産ト云フモノヲ引ツ張ッテ行クト云フ進ミ方ハ、何處カデ必ズ何時カハ是ハ行詰ッテ來ル時ガ來ルト思ヒマス、殊ニ現在デハ地方的ニ見マス、闇ノ勞賃ト云フモノガアリマシテ、ソレトモ農民ハ又較ベテ見ル者ガアリマス、相當ニ自由勞働ノヤウナ勞賃ハ思ヒ切ツテ高ク出スモノデアリマスカラ、ソレト較ベテ見テ、マルデ引合ハスト云フ所モアリマス、ソレデ價格ノ比較論カラノミ農村ノ對策ヲ考ヘテ行キマス、必ズ何處カデ行詰ッテ來ル、行詰ッタ時ニ

○國務大臣(井野碩哉君) 米ノ所謂生産費

ナルト、食糧増産ニ大キナ破綻ヲ生ジテ參リマスカラ、結局ハ全體ノ生産費ト云フモノノ、公定價格ヲ決メテ居リマス範圍内ニ於テ算出シマシテ、サウシテソレデ引合フ程度デアラナラバ先ヅ是デ作ッテ呉レト、多少ノ外ニ好イ所ガアルカモ知レナイケレドモ、併シ兎モ角農村ト云フモノハ父祖傳來ノ農民トシテノ立派ナ職場デアリシ、之ヲ守リ抜クト云フコトガ今日御國ノ爲デアリマスカラ、其ノ氣持ヲ高ク一ツ勵マシテ、サウシテ一生懸命ニ農業ニ從事シテ貰ヒタイト云フ精神の方面ノ強調ト、ソレカラ價

格政策デナク、外ノ色々ノ農業施策ヲ致シマシテ、サウシテ農村ヲシテ極メテ農民トシテノ安住ナ、良イ場所デアルト云フ風ニ導イテ參ルコトガ、一番矢張り増産ヲ續ケテ參リマスニハ大切デアル、殊ニ農村ガ、今日ハ民族涵養ノ基地トシテ非常ニ大事デアリマス、唯利益追求ノ觀念カラ物ヲ比較シテ、ソレニ合セテ行クト云フ導キ方ハ避ケテ行キタイ、斯ウ農林省トシテハ考ヘテ居マス、何ト云ツテモ利益追求ノ氣持ハ、誰ニモ是ハアリ勝チナ氣持デアリマスカラ、サウ云フ問題モアリマスアレドモ、併シ政府トシテハ、ソレデヤソレニ應ジテ物ヲ直スト云フコトニナツタラ、是コソ大變デアリマスカラ、ソコヲ抑ヘテ行クトガ私共ノ大キナ勤メデヤナイカト、斯ウ考ヘテ居リマス

○子爵松平保男君 只今大臣ノ御話デ御氣持ハ能ク分リマシタガ、ソレデ行キマス、現在ノ所謂勞銀ト云フコトハ、米ノ値段トカ云フモノニ對シテハ、是ハ先ヅ適當ナモノデアルト、唯ソコニ勞働者ナシカノ所謂闇ガアルカラ、是ハ何トモ仕方ガナイト、ソレダカラソコニハ先ヅ考ヲ持ツテ行カナイガ、ソコニ現在決ツテアル勞銀ノ値段ト云フコトハ適當デアルカラ、是ハ農民ノ自覺ニ依ツテ、サウシテ農產物増産ニ精神の盡シテ貰ヒタイ、斯ウ云フ風ナ御氣持デアルヤウニ解釋致シマスガ、サウ云フ風ナ譯デアリマス

○國務大臣(井野碩哉君) 左様デアリマス
○松本學君 只今農林大臣カラ十八米穀年度ノ食糧増産ニ付テ承ツテ能ク分タノデアリマスガ、結局十八米穀年度ニ於テ、餘リ樂

觀ヲ許サヌト云フヤウナ狀況ヲ承ツタガ、昨年ノヤウナ豐作ノ年ヲ迎ヘテ居ツテ、色々ノ事情ガアリマスカラ已ムヲ得ナイデアリマセウガ、大分大キナ問題ダラウト思ヒマス、十九米穀年度即チ來年ニ於キマシテモ、食糧ノ確保ト云フ點ニ於テハ、他ノ狀況ハサウ大シテ變ラヌノデアリマセウ、サウシマスト、ドウシテモ國內ニ於テモ相當ノ増産計畫ト云フモノガ立チマセヌト、何時モ辻褄ヲ合シテ有ラユル點ニ於テ消極的ナ計畫シカ立タナイト云フコトニナルヤウニモ思ハレテ、多ク其處ニ不安ガアルノデアリマスカ、十九米穀年度、即チ來年ニ於ケル計畫トシテ、本年ノ増産計畫ト云フヤウナコトニ付テ相當御考ニナツテ居ルダラウト思ヒマスガ、サウ云フコトニ付テ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(井野碩哉君) 明年以後ノ食糧對策ト云フモノハ一應政府トシマシテモ、所謂食糧自給強化施設ト申シマシテ、今後十二年間、昭和十六年カラ十二年間ヲ目標トシテ計畫ヲ立テ、居ルノデアリマス、其ノ計畫ニ依リマス、耕地ヲ五十萬町歩開墾シ、百七十萬町歩ノ土地改良ニ依リマシテ、又技術ノ色々ノ改善等ニ依リマシテ、十一年後ニハ米ガ千百萬石、麥ガ千二百萬石増收ニナル、ソレト朝鮮臺灣ノ増産計畫ト相俟チマシテ、内外地ヲ通ジテ自給自足出來ルト云フ建前ハ出來上ツテ居ルノデアリマス、是ハ既ニ昨年ノ議會ニ御協賛ヲ經テ、其ノ計畫ハ出來テ居ルノデアリマス、デアリマスカラ長イ間ノ自給計畫ハ一應ハ出來テ居リマスケレドモ、其ノ期間内ニ於テ色々ノ突發的ノ事情ガアリマス、資材ガ非常ニ豫想シタヨリ窮屈ニナツテ來タ爲ニ、開墾モ其ノ通り

進マナイト云フコトモアリマスシ、土地改良モ計畫通りニハ行カナイト云フコトモアリマス、ソレヲ補フノニ、何ヲ以テ補フテ行クカト云フド、外米ノ輸入ヲシテ大體不足分ヲ補フト云フ方針ヲ採ツテ來テ居リマスケレドモ、其ノ外米ガ今日デハ、船腹ノ關係カラナカク入リ難イト云フ、斯ウ云フコトニナツテ參リマシタノデ、ソコデ本年トシテハ、是カラ或ハ二三年ノ程度ノ氣持デ宜イノデヤナイカト思ヒマスガ、此ノ處暫ク米ダケデナシニ、麥ト甘藷、馬鈴薯、雜穀ト云フモノノ大増産ヲ致シマシテ、サウシテ食糧ノ綜合配給ニ依ツテ、國民ガ眞白イ御飯ヲ食ベルト云フコトヲ我慢サヘシテ貰ヘバ、量ノ上ニ於テ不足ナシニ乘リ切レルト云フ對策ヲ講ジテ參ルト云フコトカラ、本年カラ麥モ價格ヲ引上ゲ、其ノ他色々ノ獎勵施設ヲ致シマシテ増産ヲ圖リマス共ニ、甘藷、馬鈴薯ノ大増産計畫ヲ立テマシテソレヲ實行シ、來年モソレヲ續ケテヤツテ參リマシテ、二三年ハ此ノ方策デ乗り切ツテ行カウ、其ノ内ニ開墾モ出來、耕地改良モ出來、米ノ方モ殖エテ參リマス、又朝鮮、臺灣ノ方ノ計畫モ進ンデ參リマスシ、滿洲ノ計畫モ段々進ンデ參リマスシ、ソレ等ト併セテ考ヘテ行キマスレバ、結局長期ノ間ニ於テサウ不自由ナク行ケルノデヤナイカ、其ノ内ニ又外米等モ貯藏米、或ハ補給米トシテ無論考ヘラレル時モアルノデアリマスカラ、船ノ都合ガ付イタ時ニハサウ云フモノモ内地ニ持ツテ來テ、貯藏シテ、サウシテ食糧補給ニ充テラ適當デナイカ、斯ウ大體考ヘテ居リマス

○松本學君 食糧全體ニ付キマシテノ御計畫ハ誠ニ結構ト思ヒマスガ、米ノ増産ト云フコトニ付キマシテハ、是ハ矢張り利潤追求デイカヌト申シマシテモ、何ト言ツテモ矢張り引合ハナケレバ、是ハ作ラナイダラウト思ヒマス、地方ノ狀況ナドヲ見マシテモ、農民ノ聲ヲ聽イテ見テモ、ドウモ米價ガ安過ぎル、只今モドナタカ御話ガゴザイマシタガ、外トノ釣合ガ取レナイ、是ハ二重價格ニナツテ居リマシテ、石五十圓ト云フコトニ買上ノ値ガ決ツテ居ルノデアリマス、生産費ニ依ツテ算出サレル點モアリマスガ、ドウモ引合ハナイ、引合ハナイカラ之ヲ作ルコトヲ避ケルト云フヤウナコトニナリ勝チナノデ、只今御話ノ通りニ精神的ナ、所謂皇國農民トシテノ氣持デ作ルト云フコトハ、是ハ當然ノコトデスガ、ソレダケデモ行カナイ、利益追求ダケヲ以テ政策ガ立テラレナイト同時ニ、精神的ナ激勵ダケデモ是ハナカク行カヌ、ソコデ生産費ノ問題デアリマスガ、只今勞銀ノ御話モ出マシタガ、實際農民ハ勞銀ヲ支拂ツテ使用人ヲ使フト云フヤウナ場合ニハ、公定ノ勞銀デアリマシテモ事實闇デヤツテ居ルラシイ、闇デナケレバ働キ手ガ來ナイト云フ狀況デアル爲ニ、公定ダケノ計算デハナカクソレガ生産費トシテノ適正ノモノガ出來ナイ、事實ニ合ツタモノガ出來ナイ、實際ハ隨分公定以上ノ金ヲ拂ハナケレバ取入レニシテモ他ノコトニシテモ、勞働者ヲ得ルコトガ出來ヌト云フヤウナ狀況デアルヤウニ聞イテ居ルノデアリマスガ、是等ノコトニ付テハ、相當將來生産費ヲ御計算ニナル上ニ於テ御考ニナルコトガ出來ルノデアリマセウカ、矢張り公定價格ト云フコトデ計算スルヨリ外ナイノデアリマスガ、其ノ邊ヲ伺ヒタイ

○國務大臣(井野碩哉君) 矢張り生産費ヲ定メマカス場合ニハ、ドウモ闇ノ相場ヲ入レルト云フコトハナカ／＼困難デ、矢張り公定價格ヲ一應基準ニ入レ、サウシテ公定價格ニ基イテ生産費ヲ出ス、ソレガ實際トドウナルカト云フコトハ、アトハ政府ノ色々裁量ノ加ハル餘地モアリマスガ、サウ云フ所デ凡ソノ斷定ヲ下シテ行クノガ宜イノデヤナイカ、生産費自體ニ矢張り闇ノ價格ヲ入レテ行クコトハ適當デナイト存ジマス

○松本學君 生産費自體ニ公然ト闇ノ價格ヲ政府ガ御入レニナルコトハ、是ハ當然出來ナイコトデアリマスガ、實情ト云フモノヲ御調べ下サルト云フコトハ、裁量ノ方ニ相當御考ヲ願ハナケレバナラヌノデヤナイカ、從テ五十圓ト云フコトニ付テモ相當ソレヲ引上ゲテ、他ノ公定價格トノ鈎合ニ於テ御考ニナルト云フコトガ將來必要デヤナイダラウカ、公定價格ヲ主ナルモノニ付テ引上ゲルト云フト、他ノ何萬、何十萬トアル公定價格ニ影響スルト云フコトデアリヤウデアリマスガ、現在既ニ他ノ公定價格ト米ノ公定價格ト云フモノガ不鈎合ニナツテ居ルノデヤナイカ、例ヘバ政府デ上ダラシ煙草ノ値段ノ如キモ、米ノ一升ノ値段ト較ベマスト、非常ニ其處ニ不鈎合ノモノガアル、米價ノ公定價格ハ、生産費ヲ色々裁量サレテ實情ニ適シタ生産費カラシテ計算ヲシテ、公定價格ヲ今度新タニシテ御定メニナルト云フコトニナツテモ、却テソレニ依ツテ他ノ現在ノ公定價格ト鈎合ガ取レルヤウニ、實情ニ於テハナルノデハナイダラウカト云フヤウナコトガ考ヘラレルノデアリマス、サウ云フ點ニ付テ先刻モ御答辯ガアリマシタガ、公定價格ヲ米ノ方ヲ上ゲレバ又外モ上ゲナ

ケレバナラス、斯ウ云フコトニ只今御話ガアツタノデアリマスガ、却テ他ノ公定價格ヲ其ノ儘ニシテ置イテ、米ノ公定價格ヲ上ゲル方ガ實情ニ即シタ鈎合ガ取レルノデヤイカ、此ノコトヲ私考ヘマスガ、如何デセウカ

○國務大臣(井野碩哉君) 他ノ公定價格ト米ノ公定價格ト比較致シマシテ、ドツチガ安イカ高イカト云フ問題ハ、是ハ物價指數等ニ依ツテ色々調査ガ出來テ居リマスケレドモ、今日ノ所謂五十圓ト云フ米ノ價格ト云フモノハ、現在ノ物價指數ダケカラ判斷シテ決メラレナイ事情ニ食糧管理法デハナツテ居ルノデアリマス、所謂米穀生産費ト云フモノヲ基準ニシテ物價指數ヲ勘案スル、斯ウ云フコトニナツテ居リマスカラ、米穀生産費ガ非常ニ高クナツテ來テ居ル、サウシテ他ノ物價ニ指數ト較ベテモ安イト云フ場合ニハ、是ハ何トカ無論變ヘテ行カナケレバナラスと思ヒマスガ、唯物價指數、他ノ物價トノ比較ダケデ米價ヲイジルト云フ建前ニハナツテ居ナイノデアリマス、其處ガ食糧管理法トシマシテ、要スルニ農村ガ作ツタ米ハ、自家用保有米以外ハ全部政府ガ買ツテシマフ、斯ウ云フ生産上ノ安定感ヲ一面ニ於テ與ヘテ居ルノデゴザイマスカラ、御承知ノヤウニ昔デハ米ガウント豐作ダ、ウント下ツタト云フ時代モアツタノデアリマスガ、ソレニ較ベテ見ルト現在デハ、幾ラ豐作デモ生産費ヲ價付價格デ政府ハ必ズ買フ、斯ウ云フ安定感ヲ一面ニ與ヘテ居ルコトガ、米作者ニ大キナ安心ヲ與ヘテ居ルノデアリマスカラ、其ノ法制上ノ建前カラ見マスレバ、矢張り生産費中心デ斯ウ云ツタ問題ハ考ヘテ行クコトガ適當デヤナイ

カ、斯ウ思フノデアリマス、ソコデ今煙草等ノ比較ヲ御話デゴザイマシタガ、先程サウ云フ御議論ガ出マシタガ、煙草ノ方ハ税金ト考ヘテ戴ク、一般物價ト考ヘテ戴クト、總テノモノニ比較ガ困難ニナツテ來ルノデアリマス、要スルニ煙草ノ價格ヲ引上ゲタト云フコトハ、ソレダケ消費物ニ付テノ税金ヲ國家ガ其ノ手段ニ依ツテ取ルノデアルト云フ風ニ見テ行カナイトイケナイノデ、又其ノ精神デ煙草ノ値上ヲ致シタノデアリマスルカラ、低物價政策ヲ採リナガラ、煙草ナリ酒ナリノ價格ヲ上ゲルト云フコトハ怪シカラス、斯ウ云フコトハ今日ノ國家財政ノ建前カラ見マス、違ツタ進ミ方ヲ採ツテ居ルノデアリマスルカラ、是ト米ト比較シテ戴クコトハ非常ニ私共モ困ルト實ハ思ツテ居ルノデアリマス、サウ云フ點ハ勿論松本サシモ能ク御承知デアルト思ヒマスケレドモ、マアサウ云フ譯デアリマス

○松本學君 能ク分リマシタ、煙草ガ税金ノ性質ヲ持ツテ居ルト云フコトモ能ク了承致シテ居リマスガ、ソレハ理窟デアリマシテ、兎角世ノ中ニ出テ見マス、理窟ダケデ通ラナイデ、多クノ人ハ皆、國民殆ダ全部、殊ニ米ノ生産ニ當ツテ居ルヤウナ人々ハサウ云フ風ナ氣持ニナリ易イノデアリマス、其ノ氣持ヲ能ク御考ヘ下サツテ、何ヲ申シテモ増産ト云フコトガ一番大事ナコトデ、結局今日此ノ時局ヲ乘リ切ル上ニ於テ氣持好ク増産サセルト云フコトガ、政府トシテモ一番大事ナコトデアリマセウシ、只今ノヤウ御説明ヲ聽カバ、恐ラク百姓モ煙草ハ税金デアアル、米ハ生産費デアルト云フコトガ分リマセウガ、實際ニ世ノ中ニ出テ見マシテ、其ノコトガ現レテ來ルト云フト、煙

草ノ敷島ト米一升ノ値ガ同ジダト云フコトヲ能ク言フ、是ハ農林省デモ熱心ニ御考ヘニナツテ居ル、精神的ノ指導ノ點カラ申シマシテモ、サウ云フコトヲ考ヘサセナイヤウニ、一々税金ダト云フ説明モ出來ナイデアリマセウカラ、其ノ氣持ヲ一ツ御斟酌リ下サレバ、是ハ米ニハ限リマセスケレドモ、米ノ生産費ナシカニ付テノ御決定ヲナサル上ニ於テ、御氣持ガサウ云フ風ニナルノデヤナイカ、私ノ申スノハ其ノ意味ナシデアリマス、大體今ノ御話デ能ク分リマシタカラ、私ノ質問ハ是デ打切りマス

○柴田兵一郎君 只今大臣ノ御説明ヲ承リマス、煙草ノ値上ハ税金ノ増徴ヲ主眼トシテ居ルト云フコトノヤウデアリマスルガ、今日ノ如ク膨脹セル財政狀態ニ於テ私ハ必ズシモサウデハナイ、寧ロ煙草ノ生産ニ從事シテ居ル部面ヲ、重要産業ノ方ニ轉換セシメルト云フコトガ狙ヒ所ノ様ニ聞イテ居リマスガ、若シサウデナケレバ私ノ考ヲ改メタイト思ヒマス

○國務大臣(井野碩哉君) 煙草ノ生産者ヲ重要産業ノ方ニ廻スト申シマス、煙草ヲ止メテ、耕作ヲ止メサセテシマフト云フ御趣旨デアリマセウカ

○柴田兵一郎君 煙草ノ生産ニ從事シテ居ル者ヲ出來ルダケ時局産業ニ轉向セシメ、而シテ喫煙シテ居ル者ハ出來ルダケ此ノ際節減、延イテハ禁煙迄モシテ貫ヒタイト云フノガ、現下時局ノ要請デアラウト思フノデアリマス、從ツテ寧ロ稅ヲ増徴スルト云フコトヨリモ、其ノ方ニ重點ガアルカノヤウニ實ハ承ツテ來タノデアリマス

○國務大臣(井野碩哉君) 煙草ノ點ハ大藏大臣ノ御所管デゴザイマスカラ、私カラ御

答へスルノモドウカト思ヒマスケレドモ、併シ大藏省デモ其ノ爲ニ五億六億ノ税ノ増徴ヲ見込シテ居リマスカラ、全然止メサセテシマハウト云フ見透シノ下ニ上ガタノデヤナイ、寧ロ其ノ方面デ軍費調辦其ノ外色々ノ財源ノ收入ニ充テテ行クト云フ詰リ見透シヲ以テ之ヲ實行シタノデヤナイカト考ヘテ居リマス、是ハ大藏省ノ所管デゴザイマスカラ……私ノ知ツテ居リマス氣持ハサウ云フ氣持デ伺ツテ居リマス

○吉村友之進君 私ハ先程カラ伺ツテ居リマスガ、ドウモ米ノ値段ガ五十圓ハ、政府ノ御話デハ適正ノ價格デアルト仰セラレヤウニ承リマシタガ、實際ハ決シテ適正デナイト存ズルノデアリマス、統計ニ依ツテドウスウト仰セラレケレドモ、財政ノ年々大膨脹スル今日、從來ノ統計ヲ以テ今年ノ生産費ヲ決メルト云フコト自體ガ、私ハソコニ無理ガアルノデヤナイカト思ヒマス、米ハ今日重要ナモノデアリマシテ、現ニ玄米食迄モ獎勵セヌケレバナラヌ程窮屈ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ増産ハ特ニ政府ガ御留意ナサルノハ勿論デアアルガ、從ツテ米ノ五十圓ハ適正ダ、是デ大丈夫ダト云フ御考ハドウカ知ラス、ドウカ御一考ヲ願ヒタイト存ズルノデアリマス、ドウカ宜シク……

○國務大臣(井野碩哉君) 米ノ現在ノ價格ガ適正デアルカドウカハ農林省トシマシテモ、從來ズツト色々ノ統計資料ニ依リマシテ判斷ヲ下シテ居ルノデアリマス、現在ノ狀態ニ於テハ之ヲ以テ進シテ參リタイ、併シ色々又今後ノ情勢ニ依リマシテ之ヲ直ス必要ガアリマス時ニハ、是ハ勿論直シテ參リタイト思ヒマスガ、現在デハ是デ進シテ參リタイト、斯ウ思ツテ居リマス

○子爵土岐章君 私ハ二、三農林大臣ニ伺ヒタイト思ヒマスガ、此ノ度政府トシテハ、此ノ農業保險ニ對シテ更ニ強化ヲサレルト云フコトデアリマスガ、之ニ付テハ殊ニ米產地デアアル東北地方ニ於テ、私ハ政府ノ栽培上カラ言ツテ農林指導ニ對シテ、モット徹底シテ方法ヲ御立デニナツテ、サウシテ冷害ニ對シテ栽培上カラ言ツテ、マダ輕減スルト云フ方法ヲ御採リニナル方法ガアルノデヤナイカト、斯ウ考ヘテ居ルノデスガ、ソレハ例ヘテ申シタナラバ、既ニ農林大臣モ度々東北地方ニ實地ニ篤農家等ヲ訪問サレテ、其ノ仕事ニ對シテ從憑サレテ居リマスガ、即チ分施ト云フコトヲ頻リニ農林省デ唱ヘラレテハ居リマスガ、此ノ方法ノ良イト云フコトハ分ツテ居ルノデアリマス

ガ、マダ技術者ノ方面トシテノ農民ニ對シテ、其ノ趣旨ヲ徹底サセルト云フコトニ對シテ不徹底デアアルノデヤナイカ、モウ少シ是アタリ實際ニ行ツテ居ル篤農家等ヲ動員サレテ徹底セシメラレルナラバ、マダノ冷害ニ對シテモ或程度ノ耐久力ヲ與ヘ得ルノデヤナイカト考ヘルノデアリマスガ、其ノ點ニ對シテ政府トシテドウ云フ風ニ考ヘテ居ラレルカ、此ノ點ヲ伺ヒタイ

○國務大臣(井野碩哉君) 東北ノ冷害對策ノ一ツトシマシテ、又今日ノ肥料事情ニ即應スル爲ニ分施ノ普及ガ東北ニ漸次進ミツツアリマスガ、農林省トシマシテモ、此ノ方法ガ適切デアルト考ヘテ居リマスノデ、最近ハ東北ノ色々ナ試驗地ニ於キマシテモ、此ノ試驗ノ結果ガ現レテ居リマスノデ、ソレヲ基トシ、山形、秋田等ニ於キマシテハ最近非常ナル普及ヲ見テ居ルノデアリマス、從ツテ分施ノミナラズ品種ノ改良、栽培方法

ノ改善等ニ付テモ、東北ハ東北ニ即應スルモノヲ選ブコトニ付キマシテハ、農林省トシマシテハ技術的ノ指導ナリ研究ナリハ、相當ニ現在デハ力ヲ入レテ居リマス、其ノ效果モ著々ト舉リツ、アルノデアリマシテ、現ニ一昨年ノ如キ全國ノ天候不順ノ爲ノ凶作ノ時ニモ、寧ロ秋田、山形アタリハ平年作ヲ擧ゲ得タト云フコトモ、其ノ結果ニ依ルノデハナカラウカト、斯ウ考ヘテ居リマス

○子爵土岐章君 只今ノ分施等ノ問題ニ付キマシテハ、從來ハ技術方面ノ所謂農事試驗場ノ技師或ハ技手ト云フ者ハ、理論的ナ事柄ハ能ク分ツテ居ラレタノデアリマスガ、一般ノ稻作ヲヤル者ニ對シテ其ノ意味ガ徹底シテ居ラナカッタ、又徹底シテヤル者モ、農家ト云フ者ニ對シテモ實際ニ行ツテ居ル者ノ其ノ實效ヲ十分ニ取入レテ、廣ク進メルト云フコトニ對シテ缺點テ居ッタノデヤナイカ、ソレハ謂ハバ農家トシテハ所謂技術者、技師、技手ト云フヤウナガ説明スルト云フコトハ自分達ニハ敵ハヌ、理論ハサウダケレドモ、自分達農家デハナカノサウ云フムツカシイ議論ハ分ラヌト云フ考ヘ方ヲシテ居ツタヤウニ感ズルノデアリマス、斯ウ云フ風ナ點カラ言ツテ、私ハ、山形秋田其ノ他ニ於テ段々ニサウ云フ分施ヲスルコトガ宜イト云フコトガ分ツテ來テ居ルノデアリマスガ、之ヲモウ少シ徹底底底ニ、サウ云フ風ナ所謂農民ノ、十分ニ其ノ方法ヲ理解シテ居ル者ヲ大量的ニ御養成ニナルト云フコトガ必要デハナイカト私ハ思フノデアリマスガ、ソレニ對シテ政府トシテ何カ御考ヘニナツテ居ルカ、伺ヒタイ

○國務大臣(井野碩哉君) 政府トシテ色々考ヘテヤツテ居リマスカラ、農政局長カラ委細申上ゲマス

○政府委員(石井英之助君) 冷害ノ點ニ付テ御話ガゴザイマシタガ、只今例トシテ御話ガアリマシタ肥料ノ分施ノ問題、是ハ大臣カラモ御話ガアリマシタヤウニ、漸次相當ノ範圍ニ普及ヲシテ參ツテ居ルノデアリマス、其ノ普及ヲ圖リマス上ニ於テ、實際ノ活用ヲシタラドウカト云フ御趣旨ノヤウニ伺ヒマシタガ、我々ノ方トシテモ栽培上、肥培管理ニ關スル技術ノ普及ニ付キマシテハ、各地方ノ實際ニ即シタ……實際家ニ働イテ貰フト云フコトガ、農民ノ間ニ其ノ技術ヲ滲透セシメル上ニ非常ニ效果ガアルヤウニ我々トシテモ考ヘテ居ルノデアリマス、他ノ作物ニ付キマシテモ漸次サウ云フ方向ニ向ツテ、農民ニ對スル滲透ヲ圖ツテ參リタイト云フノデ努力ヲ致シテ居リマス、此ノ肥料ノ分施ノ問題ニ付キマシテモ、能ク地方ノ事情ヲ考ヘマシテ段々トサウ云フ方法ヲ採ツテ參リタイト考ヘテ居ルノデアリマス、尙冷害ノ防除ノ問題ニ付キマシテハ、品種改良ノ問題ト、ソレカラ栽培法ノ改良ト云フコトニ主力ヲ置キマシテ、殊ニ品種改良ノ問題ニ付キマシテハ、農事試驗場ノ本場ヲ中心トシマシテ、東北各縣ニソレゾレノ指定試驗地ヲ設ケテ、冷害ニ強イ品種ノ選擇育成ト云フコトニ、只今仕事ヲ進メテ居ル譯デアリマス、是等ト相俟チマシテ、冷害ノ防除ノ方ハ此ノ上トモ十分努力致シタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○子爵土岐章君 分施ノ問題ニ付テハ其ノ程度ニ致シマシテ、私ハ農林大臣ニ伺ヒタイノハ、農林當局トシテ今日食糧ノ問題ニ

付テハ、玄米ノ使用ト云フコトニ對シテ段
段ニ指導サレテ居ラレ、又中央食糧協會デ
スカ……ヲ作ラレテ生産者ノ横ノ連絡モ執
ラレテ居ルヤウデアリマスガ、今日ノ食糧
事情カラ考ヘテ私ハ、厚生省ノ行ッテ居ラレ
ル所ノ榮養方面ト、之ヲ消費スル側トノ間
ニ於テ、マダ十分ナル結び著キト申シマス
ルカ、謂ハバ糊ガドウモナイヤウニ考ヘラ
レル、中央食糧協會ヲ作ラシテヤッテ居ラレ
マスガ、ソレヲモウ少シ進メテ言ヘバ食糧
省ト言ヒマスカ、モット徹底的ニ食糧ト云フ
コトヲ、消費ノ部面ヲモット重加サレテ、食
糧關係ヲ御考ニナルト云フコトガ、私ハ
必要デヤナイカト思フノデアリマスルガ、
ソレニ對シテ農林當局トシテハ今回ノ狀
況トシテ今ノ程度デ宜イト、斯ウ云フ風ニ
御考ヘニナッテ居ラレマスカ、其ノ點ヲ承リ
タイ

○國務大臣(井野碩哉君) 食糧ノ榮養上ノ
見地カラ色々厚生省トモ連絡シマシテ、研
究ヲ致シテ參ッテ居リマスガ、唯單ナル役所
間ノ連絡ダケデハナクテ、民間ノ方ニモサ
ウ云フ連絡機關ヲ設ケテハドウカト云フ御
意見、之モ今日ノ情勢デ唯機關ダケ設ケマ
シテモ、實際ガ動キマセスト其ノ仕事ガ舉
ラナイ譯デアリマスノデ、先ヅ食糧協會ト
致シマシテ、横ノ連絡ノ機關ヲ一應作リマ
シテ、其ノ動キヲ見テソコ迄擴大スル必要
ガアリマスレバ擴大ヲシテ參リタイト考ヘ
テ居リマス、現在デハ農林省ノ中ニ食糧研
究所モゴザイマシテ、農林省自體ニ於テ色
色榮養上ノ研究モ致シテ居リマスケレドモ、
併シマア厚生省トハ極メテ密接ナ關係デ色
色仕事ヲ致シテ居リマスカラ、役所關係ハ
ソレデ十分或程度ノ連絡ガ取レテ行クト

思ッテ居リマス、尙最近御承知ノ通り東亞農
業研究所ガ出來マシテ、役所ダケデハ「セ
クシナリズム」ガアリマシテ出來ニクイ
問題モ、此處デ一ツ民間ノ機關ヲシテ有ラ
ユル方面カラ食糧問題ナリ、農業問題ヲ捉
ヘテ研究シテ參リタイト云フ趣旨デ、アノ
財團法人ガ出來上リマシタノデ、之ノ活用
ヲ圖ッテ參リマスコトモ、只今御質問ノ趣旨
カラ見テ極メテ緊切ガラウト考ヘテ居ルヤ
ウナ譯デアリマス

○子爵土岐章君 次ニモウ一ツ伺ヒタイノ
ハ、政府トシテハ昨年ノ豫算ニ於テモ非常
時ニ對スル所ノ對策トシテ、罐詰ノ貯藏其
ノ他乾麵麴ノ貯藏等ニ對シテモ色々施設ヲ
施シテ居ラレルヤウデアリマスガ、殊ニ食
糧ノ問題ハ大都市等ノ、民衆ノ集ッテ居ル所
ニ對シテ、特ニ重點的ニ御計畫ヲスル必要
ガアルト考ヘルノデアリマス、而シテ今日
是等ノ貯藏食糧ハ果シテ都市ニ於テ分散的
ニ貯藏サレテ居ルカドウカト云フ點ニ付テ
我々非常ニ懸念ヲ持ッテ居ルノデアリマス、
是ハ速記ヲ御止メ願ヒマス

○委員長(伯爵黒木三次君) 速記ヲ止メ
テ……
(速記中止)

○委員長(伯爵黒木三次君) 速記ヲ始メ
テ……

○三井清一郎君 只今ノ資料ニ付テハ、二御
願ヒ致シタイと思ヒマス、食糧管理特別會
計ノ現況、若干數字のニモナリマセウシ、
或ハ文書デモ説明デモ宜シウゴザイマス、
ソレカラ産業組合ノ全國的ニ總計シタ現況、
ソレヲ御願ヒシタイと思ヒマス
○委員長(伯爵黒木三次君) 他ニ御要求デ
モゴザイマスレバドウゾ……大體衆議院ニ

提出サレタモノハドウゾコチラノ方ニ御廻
シテ願ヒタイ、斯様ニ御要求致シマス

○松本學君 衆議院ニ出テ居リマスカドウ
カ私ハ知リマセヌガ、農林省關係ノ統制會
社トカ營團……

○國務大臣(井野碩哉君) 出テ居リマス
○松本學君 出テ居レバソレヲ拜見致シマ
ス

○委員長(伯爵黒木三次君) 宜シウゴザイ
マスカ、ソレデハ今日ハ此ノ程度デ散會致
シマス

午後零時二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵黒木 三次君
副委員長 男爵稻田 昌植君
委員 公爵山縣 有道君
侯爵池田 宣政君
子爵岡部 長景君
子爵松平 保男君
子爵土岐 章君
子爵本多 忠晃君
入江 貫一君
三井清一郎君
男爵三須 精一君
男爵坊城 俊賢君
男爵西 西乙君
赤池 濃君
松本 學君
千石興太郎君
吉村友之進君
塩田 團平君
大藪 守治君
米原 章三君
柴田兵一郎君

國務大臣

石黒 忠篤君

農林大臣

井野 碩哉君

政府委員

農林省農政局長

石井英之助君

昭和十八年二月十六日印刷

昭和十八年二月十七日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局